

寺報

No.625

令和元年9月

蓮華寺
發行

御聖訓

人の身には、ひとのみ 同生・同名と申す
 二人の使いを、ふたりのつかい 天生まるる時より
 つけさせ給ひて、たまたま 影の身にしたが
 ふが如く、ごと しばらくもはなれず。

『同生同名御書』



(解 説)

「お釈迦様はこうお説きになりました。

我々人間には生まれると同時に、生命を護る同生天と生活を護る同名天という二人の神様が、必ず備わっています。

この神々は合わせて『俱生靈神』といひます。

常時我々の身体から離れませぬので、その人のどんなに大きな罪や小さな罪も一つも見逃さないし、また逆に大きな功德や小さな功德も同じようにして、代わる代わる天に昇つて報告をするのです。」

日蓮大聖人はこの教えに強く心が引かれました。

皆様の信仰の基本は、まずこの俱生靈神の存在を知る事です。

知る事によつて、我々の行いは自然に正しい道を進んでいくようになるのです。

その時、俱生靈神は我々を守護する働きも同時にしてくれるのです。

どうか俱生靈神符（毎月のおまもり）を身体に着け一心に法華経・お題目を唱える正しい信仰をしましう。

『秋彼岸会』のお知らせ

二十日(金)・二十三日(月)・二十六日(木)

場所…小本堂

*法要

午前八時より九時まで

*法話

約十分間

	お経・・・訓読法話	
二十日	序品第一・方便品第二・欲令衆	加藤上人
二十三日	提婆達多品第十二	住職上人
二十六日	如来神力品第二十一	埜上人

②『秋彼岸会』の法要は三日間ですが、ご先祖と仏様のご供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。

みんなで参拝しましょ

秋彼岸会法要次第

- 一、道場偈(僧侶が唱えます)
 - 一、勧請(導師が唱えます)
 - 一、開経偈(無上甚深)
 - 一、お経(日程表をご覧下さい・日本語読み)
 - 一、運想(唱え奉る妙法は)
 - 一、お題目(南無妙法蓮華經)
 - 一、宝塔偈(此経難持)
 - 一、回向(導師が唱えます)
 - 一、お題目(南無妙法蓮華經・僧侶は供養の誦上)
 - 一、お経(如来寿量品第十六・漢字読み)
 - 一、お題目(南無妙法蓮華經)
 - 一、付回向(導師が唱えます)
 - 一、四誓(衆生無辺誓願度)
 - 一、お題目三唱
- 法話・・・約十分間

③お経は要品の訓読(日本語読み)ですので、お経本はお寺でお求め下さい。

以上

お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後に申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、お預かりしていますお骨の前に一週間上がりませす。なお、「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けしますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

檀信徒研修会のお知らせ

九月二十八日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間…午後七時より

場所…小本堂【イス席】

持参品…聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、また先祖供養の為、と各自の目標に向い修行して下さい。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

- 一、改修費用 三千一百万円
 - 一、完成日 令和二年五月
 - 一、浄財 一口・一万円
- 【何口でも結構です】

蓮華寺大本堂
 『須弥壇』(前机)
 『鬼子母神・妙見菩薩御厨子』
 『大黒天御厨子』

修復浄財勸募のお願い

令和二年六月二十一日(日) 日蓮大聖人の御生誕八百年記念の東北教区大法要が、日蓮宗の管長猊下をお迎えしまして、当山を会場に厳修されます。その記念事業として、当山では大本堂御寶前の前の『須弥壇』と両脇にお祀りしています『御厨子』の修復工事を行う事にしました。これらも九十二年の年月を経て、かなり老朽化しましたので、今般これを機に修復したいと思えます。どうかその旨をご理解戴きまして、今般の修復へのご協力をよろしくお願い致します。なお、御浄財はご賛同頂けます檀信徒の皆様方にのみお願いしております。

＊勸募方法(事務所までお申し込み下さい)

退任のご挨拶

加藤 暁宏

この度、当蓮華寺を退職し自坊『要心寺』へ帰る事になりました。平成二十四年三月に蓮華寺に勤務して以来、はや七年になります。今般、青森市を離れるに当って、何となくさみしいような、もつといたいなあと思うこの頃です。私の自坊はつがる市筒木坂という所で、青森市よりもちよつと田舎で人口も少ないのどかな所です。蓮華寺で大荒行にも行かせて頂き、修法も出来るようになり、また色々な行事や大法要も経験させて頂きました。自坊に在るだけでは、このような経験は出来なかつたでしょう。これもご任職初め、各上人のご指導、そして檀信徒の皆様のおかげだと思えます。私もこれからこの経験を活かし、要心寺檀信徒の為に日々精進していくつもりです。どうも長年に渡りありがとうございました。また蓮華寺に来たおりに、檀信徒の皆様、気軽に声をかけて下さい。

合掌

さい じょう いな り たい さい 最上稲荷大祭

九月二十二日(日)

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という名は元々稲の神であり、農業の神という意味です。それが転じて商売繁盛・開運の神様となりました。



- * 祈願・・・八百円
- * 御法楽・・・八百円
- * 御神体御法楽・千円

◎「ご祈願・御法楽」をお申し込みの方に『お札』を差し上げます。
 ◎御神酒・お供物を受付けます。

九月の行事

- 一 日(日) 『盛運祈願会』 午後一時より
- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 檀信徒の皆様は、必ずお守りを持ちましょう。



十三日(金) 『日蓮大聖人ご命日』 午後一時より

・ お経 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)

如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)

・ 日蓮大聖人の御報恩を忘れずに参拝しましょう。

『秋彼岸会』 三日間
二十日(金)・二十三日(月)・二十六日(木)

【法 要】午前八時より

◎ 『秋彼岸会』の行事は、三日間ですので、ご参拝は日程表をお確かめの上、お願い致します。

二十二日(日) 『最上稻荷大祭』 午後一時より

二十四日(火) 甲子きのえね 『大黒様の日』 朝のお勤め中

二十八日(土) 檀信徒研修会 『唱題行』 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

『秋彼岸会の追膳』

二十日(金)・二十六日(木) 迄一週間

◎ 『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時〜七時半頃迄】夕【午後三時〜五時頃迄】ですので、お手伝い出来ます方は時間迄にご集合下さい。

お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞお気軽にお出下さい。

二十二日(日) 『最上稻荷大祭』のお手伝い

教宣部男性 午前十時半より

教宣部女性 昼十二時より

*テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

◎ 各部員はご奉仕の他に、『秋彼岸会』の午前八時から、『最上稻荷様大祭』の午後一時からの法要に積極的にご参拝して下さい。

- ◎ 奉仕部長・山田兼補 ◎ 伝道部長・小野正春
- ◎ 教宣部長・杉淵昌三

『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の(秋彼岸供養)は、九月二十三日(月)の中日の午前十時三十分より、住職上人がご回向しますので、ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。

時間は三十分程です。

霊断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。

なお宗旨・宗派は問いません。 ☎ 776-5840

『位牌壇』の募集!

◎ お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎ 仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎ 特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎ 最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎ 現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致しますが、維持費は増額となります。

詳細は事務所まで!

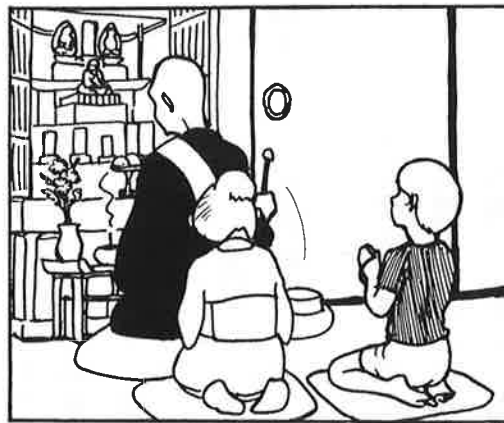
あき ひ がん え 秋 彼 岸 会

二十日(金)・二十三日(月)
二十六日(木)の三日間

於：小本堂

法 要・・・午前八時～九時まで

- * 『法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、
檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。
残りのご供養は「朝のお勤め」で読み上げします。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各霊位・・・800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・永代供養堂・・・3,500円

*法要に参列し、お経・お題目を唱えましょう！